

# 水害編

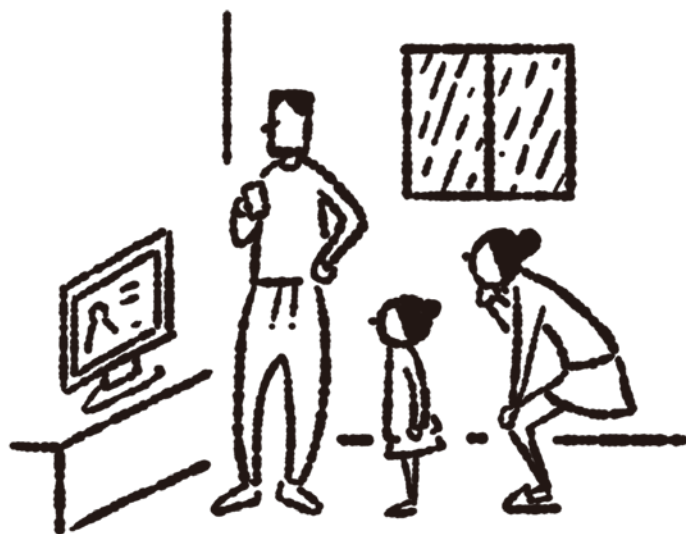


迫りくる水から  
自らを守れ！  
水害から  
逃げ遅れないために

水害編 第1章

# 【水害発生】

北区で起こりうる、  
4つの水害



- 1 北区を襲う大規模な水害 p.105
- 2 北区の水害の特性 p.109

# ① 北区を襲う大規模な水害

## 北区は水害に弱い

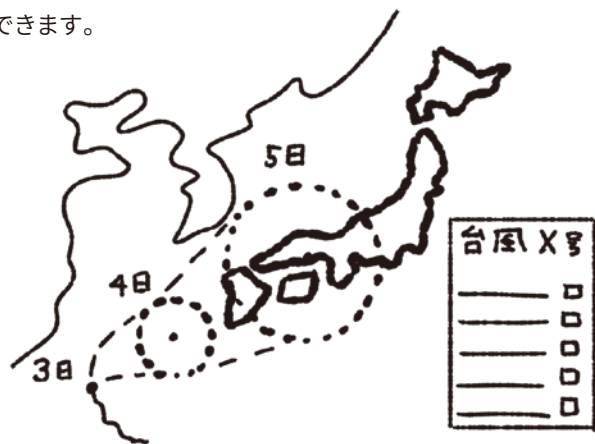
### 水に浸かりやすく、水がなかなか引かない



北区では海拔0m地帯やそれに近い低地が広範囲に広がっています。

### 水害発生時期は予測ができる

突然の大雨による浸水を除いて、ある程度事前に発生時期を予測できます。日ごろから正確な情報を手に入れる手段を確保していれば、命を守ることができます。



## 事前の備えと早めの避難

### 事前の備えは地震対策と同じ

備蓄物資や持ち出し品の内容などは、基本的には地震の場合と同じです。ただし、長期間水に浸かる可能性のある地域では、物資などを地震の場合よりも余裕をもって蓄えておくことより安心です。



### 早めの避難が最善の対応策

浸水により避難が数日間にわたる場合もあります。3日分程度の物資を持って避難しましょう。また、避難にあたっては近隣のお年寄りや障がい者に声をかけるなどして、逃げ遅れが起こらないようにしましょう。

# ① 北区を襲う大規模な水害

コラム<sup>16</sup>  
column

## 大規模な水害のパターン

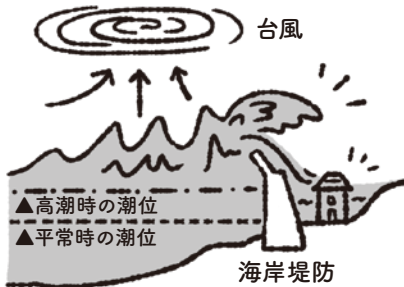
北区を襲う大規模な水害は、豪雨による淀川氾濫と内水氾濫および大阪湾から海水があふれて流れ込む高潮と津波の4つです。



<豪雨・長雨による淀川氾濫>



<局地的大雨による内水氾濫>



<スーパー台風による高潮>



<南海トラフ巨大地震による津波>

## 津波を実感し、高潮を知る

### 津波・高潮ステーションで学ぶ

近い将来必ず大阪を襲うといわれる南海トラフ巨大地震による津波や、かつて大阪を襲った高潮への対応などを学べる、広く開かれた施設です。

### ダイナキューブ

前面・左右側面・底面の4面に投影される映像の中に身を置くことで、より体感的に津波の脅威を感じることができます。



### 高潮被害トンネル

過去、大阪を襲った室戸台風、ジェーン台風、第二室戸台風による高潮被害の様子を展示しています。現在は防潮堤のかさ上げなどで安全性が向上していますが、これを越える高潮が起こったときのことを、展示から学び取ることができます。



### 施設案内 津波・高潮ステーション

開館時間：午前10時～午後4時  
 休館日：火曜(祝日の場合は翌平日)、年末年始  
 入館料：無料  
 所在地：西区江之子島2-1-64  
 電話：06-6541-7799  
 最寄駅：Osaka Metro 中央線・千日前線 阿波座駅  
 7号出口徒歩2分、10号出口徒歩1分

## ② 北区の水害の特性


### 淀川氾濫は北区全体に広がる



淀川沿岸に整備された堤防の高さと市街地との間に大きな高低差ができたため、ひとたび堤防が壊れると、氾濫した水が一瞬にしてまちを襲い、人命や住宅、ライフラインが途絶えるなど壊滅的な被害になります。

### 木造建物の流出や、地下空間に大量の水も

決壊した堤防の近くは流速が早く、「家屋倒壊等氾濫想定区域」内の木造建物などが流出する可能性があります。  
地下街などの入口にある浸水防止パネルを越えて、地下空間に大量の水が一気に流れ込むおそれもあります。

 防災マップ 淀川氾濫による浸水想定区域と浸水継続時間を確認する pp.179-180

### .....【平成25年9月16日 台風18号豪雨】.....

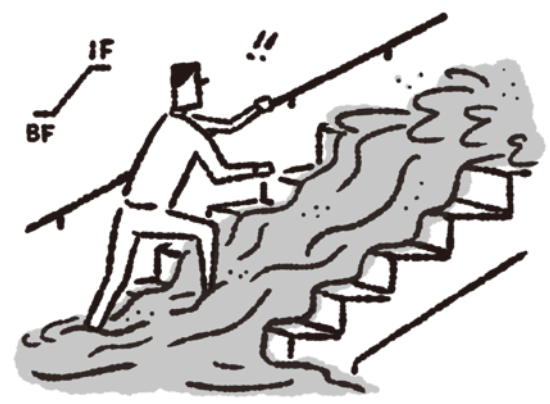
淀川本川では、昭和57年以来約30年ぶりに河川敷まで冠水する洪水となりました。



枚方市周辺の状況  
写真提供:国土交通省淀川河川事務所

### 内水氾濫は突然に

### 突然地下に水が流れ込んでくる



地下街などでは、局所的な大雨の降り始めがわかりにくく、また急に水位が増すため、逃げ遅れる危険性が高い災害です。

地上の水位が浅くても、突然地下空間に水が流れ込むこともあります。

 防災マップ 内水氾濫による浸水想定区域を確認する p.181

### .....【平成25年8月25日 大阪市北部の局地的大雨】.....

1時間雨量:67.5mm  
浸水戸数:1,320戸 うち床上41戸



梅田周辺の状況  
出典:「集中豪雨被害軽減対策について」(大阪市)



## ② 北区の水害の特性

### ==== 高潮は台風とともに襲来する =====

#### 流れを避けて早めの避難を

高潮は流れをもって北区の西側部分の広い範囲におよびます。大阪駅周辺では地下空間への浸水の可能性があります。



#### 猛烈な雨風が発生する前に避難

高潮は台風とともに来ますが、猛烈な雨風の中を避難すると危険です。天気予報の台風進路予報などを見ながら、早めに自宅の浸水対策をし、避難しましょう。

.....【昭和36年9月16日 第二室戸台風】.....

室戸台風では多くの人命が失われましたが、その後発生した第二室戸台風では早期の避難によって高潮を直接の原因とする死者はゼロでした。



出典:「大阪築港100年 海からのまちづくり 中巻」(大阪市港湾局)

### ==== 津波では命を守るため避難第一 =====

#### 津波はスピードと破壊力を 持って迫ってくる

北区では最大1.7万人弱の死者が予想されています。事前の避難によって、ゼロにすることができます。



#### 後片付けよりもまず避難

大きく長い横ゆれの地震が発生したあとは、津波が発生する可能性があります。家具などが散乱する室内を片付けるより、災害情報に耳を傾けて、次の行動を決めることが大切です。大阪駅周辺では地下空間が浸水する可能性があります。



津波による浸水想定区域を確認する p.182

.....【平成23年3月11日 東日本大震災】.....



石巻市役所周辺の浸水状況



石巻市中央2丁目付近の被害状況

出典:東日本大震災アーカイブ宮城(石巻市) 石巻市役所提供

コラム⑰  
column

## 地下空間での注意事項

### 地下空間では外の様子に注意

雨の季節、自宅や管理人のいないビルなど外部からの声かけが期待できない地下にいる場合、常に情報が入るようテレビ、ラジオなどに注意を傾けておきましょう。

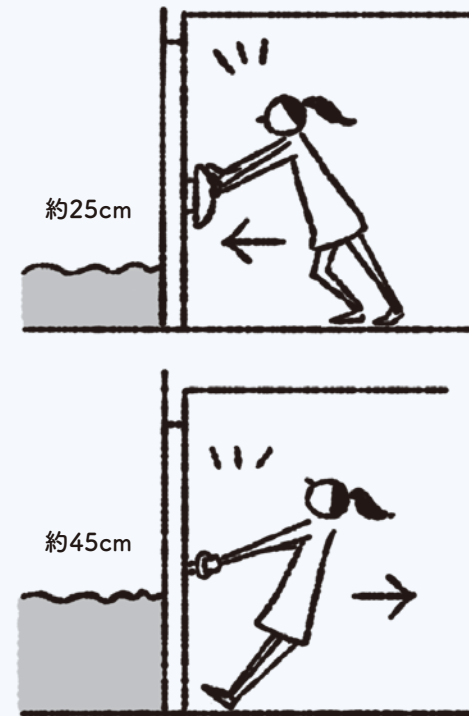
### 地下は密室になりやすく避難が困難になる

地下はもともと閉鎖性の高い空間で、浸水が発生すると逃げ道が少なく避難がとても難しくなります。また、停電に加えて非常灯・誘導灯までショートしてしまうと、避難はさらに難しくなります。早めの避難が大切です。



### 足元に水が見えたらすぐに避難

外開き、内開きにかかわらず、浸水すると水圧で扉が開かなくなります。外開き扉が開かなくなる浸水深さは約25cm、内開き扉でも約45cmの浸水で扉が開かなくなります。内開き扉が開かなくなるのは、ドアノブと連動するツメに大きな圧力がかかってドアノブが回らなくなるためです。



## 水害編 第2章

# 【避難行動】

水害は起こる前に、  
とにかく逃げる



- 1 状況確認・避難判断 p.117
- 2 安全な場所への避難 p.121



# ① 状況確認・避難判断

## 水害発生タイムライン

### 【警戒レベル4】で全員避難!!

お年寄りなど避難に時間や助けが必要な人は、【警戒レベル3】が発令された時点で避難を開始してください。

### 淀川氾濫は上流部での雨の降り方に注意

上流部での降雨が淀川の流量に大きく影響するため、住んでいる地域だけでなく、上流部での今日、明日の雨の状況についても注意を払いましょう。

### 内水氾濫では避難情報が発信されないことも

内水氾濫では、早ければ猛烈な雨が降り出してからほんの10分程度で道路側溝やマンホールから水があふれ出します。空が雷とともに真っ黒な雲に覆われたら要注意です。

### 高潮は数日前からの台風情報に注意

高潮は大型台風(スーパー台風)が大阪湾に接近、上陸したあとに発生します。大型台風が発生する予報が出されたときは、その進路に気を配りましょう。

### 津波避難は地震発生後すみやかに

南海トラフ巨大地震が発生した場合には、太平洋沿岸地域や大阪湾沿岸地域にも大津波警報が発表されます。大きな横ゆれを感じたら、情報に注意して、避難指示(緊急)の発令を待たずに素早い避難を心がけましょう。

現象	淀川氾濫	内水氾濫	高潮	津波
原因	集中豪雨	局地的大雨	スーパー台風	海溝型地震
5日前			台風発生	
3日前			台風5日後 進路予報	
1日前			台風72時間後 進路予報	
半日前			台風24時間後 進路・規模予報	
2時間前	継続降雨(日量360ミリ)	大雨警報(浸水害) 洪水警報 【警戒レベル3】発令	高潮(特別)警報	地震発生
60~10分前	淀川氾濫危険水位(レベル4) 【警戒レベル4】発令	強い積乱雲発生 継続降雨 ゲリラ豪雨発生		大津波警報 避難指示(緊急) 発令
災害発生	越流・破堤	道路冠水	越流・破堤	津波到達
±0時	淀川氾濫危険水位(レベル5) 【警戒レベル5】発令			地下への流入
30分後		地下への流入		
1時間後				
2時間後				地下への流入
5時間後	想定区域全域浸水			

※気象の状況によって地下への流入が早まる場合があります。

# ① 状況確認・避難判断

## 市が発令する避難情報

### 避難情報は5段階

避難情報5段階のうち【警戒レベル1】と【警戒レベル2】は気象庁が発表し、【警戒レベル3】から【警戒レベル5】は大阪市が発令します。

#### 【警戒レベル3】高齢者等避難!!その他の人避難準備

- ◆避難に時間を要する人(ご高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難する
- ◆その他の人は、避難の準備を整える

#### 【警戒レベル4】全員避難!!

- ◆すみやかに避難する
- ◆避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や自宅内のより安全な場所に避難する

#### 【警戒レベル5】災害発生

- すでに災害が発生している状況
- ◆命を守るために最善の行動をとる

※津波警報または大津波警報が発表された場合は、警戒レベルではなく、避難指示(緊急)として避難情報が発令されます。

### 避難行動の呼びかけ

淀川氾濫【警戒レベル4】の場合、大阪市は次のように避難行動を呼びかけます。

- ◆「緊急放送、緊急放送、警戒レベル4、全員避難」×2回
- ◆こちらは大阪市です
- ◆淀川が氾濫するおそれのある水位に到達し、警戒レベル4となりました
- ◆すみやかに全員避難を開始してください
- ◆指定された避難場所への避難が危険な場合は、近くの安全な場所か、屋内の高いところに避難してください

### 避難情報はサイレンでも

避難情報は防災スピーカーからサイレン(警告音)として流されます。

	サイレン(警報音)パターン
津波警報	
大津波警報	
避難勧告	
避難指示	

大阪市危機管理室のホームページで実際のサイレンパターンを聞くことができます(wav形式)。



## ② 安全な場所への避難

### 水害からの避難は垂直避難と水平避難

広範囲が浸水する場合、浸水想定区域外への水平避難は簡単ではありません。お年寄りや身体に障がいのある人は特に大変です。

#### 垂直避難～ビルの3階以上に

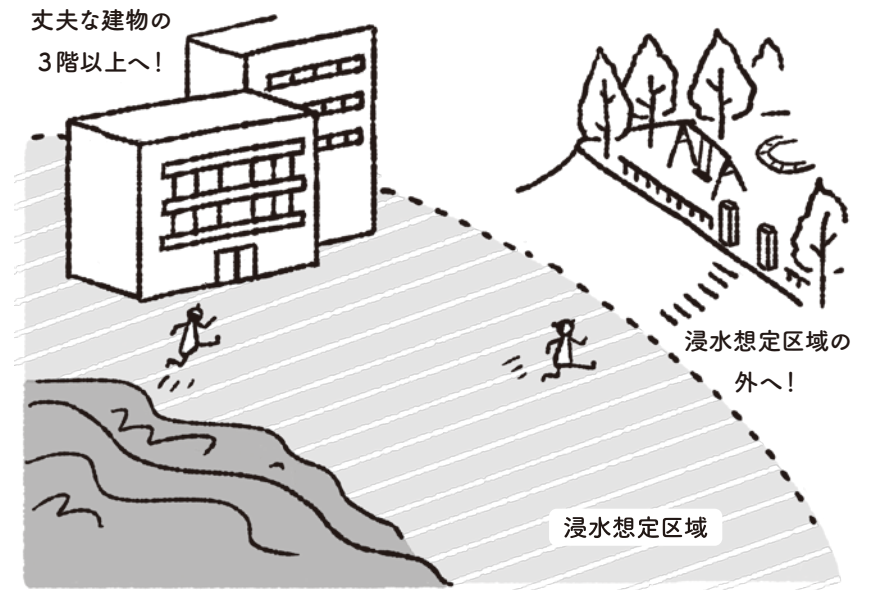
津波避難ビルに指定されている災害時避難所の浸水しない階か、その他の津波避難ビルや付近の丈夫なビル、住んでいるマンションの3階以上に避難しましょう。



#### 水平避難～浸水想定区域の外へ



治療や介護、その他命にかかわるようなサービスが日常的に必要な人は、早めに浸水想定区域外へ移動しましょう。被害を受けた地域では、さまざまなサービスが大きく低下します。



防災マップ

最寄りの津波避難ビルを確認する (地域別防災マップ) pp.159-176  
水害時の浸水想定区域を確認する pp.180-182  
水害時に避難できる避難場所を確認する pp.183-186



事前の備え

水害時の避難先を決めておく pp.227-228

## ② 安全な場所への避難

### 安全に避難するために

水害からの避難は、早め早めが安全です。屋外に避難するとき、雨が降っていたり、浸水が始まっていたりすると避難行動自体が危険となります。

#### 動きやすく安全な格好で避難

レインコートなどを着用して両手が使えらるるようになしなさい。リュックサックの利用も有効です。



#### 浸水深さに注意

浸水深さがひざより上の場合は、屋外を移動せずたどり着ける場所に避難しなさい。津波の場合は、すねぐらの深さでも危険です。



#### 足元に注意

濁水の下に凹凸につまずいて転倒したり、側溝やふたのずれたマンホールに落ちないよう、傘、ウォーキングポールなど長い棒で足先を探りながら進みます。



#### 1人で行動しない

流水の中で転ぶと立ち上がれなくなる可能性があります。助け合いができるように1人で行動することは避けなさい。子どもやお年寄りなどへの気配りも忘れなさいにしなさい。



#### 避難に自動車は使わない

多くの人と同時に避難するため、交通渋滞が発生します。

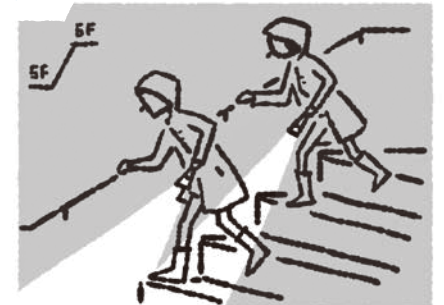


#### ハイブリッド車に注意

冠水したハイブリッド車や電気自動車に触れると感電することがあります。

#### 電気室の浸水で建物機能がマヒ

浸水想定区域内の建物では、止水板や土のう・吸水土のうを設置して電気室の防水対策を行いなさい。



## 水害編 第3章

# 【住宅復旧】

助けを借りて、  
早めの復旧作業を



### 1 早めの住宅復旧

p.127



## ① 早めの住宅復旧

### 住宅の復旧は自力だけでは困難

水害にあつと、衛生上建物や家財道具の水洗いが必要で、水に泥が混じっている場合の泥出しや建物の洗浄、家財の運び出しなどの作業は重労働です。泥が固まると作業がさらに難しくなります。

自力だけでは難しいため、知人や近所の人々と助け合うほか、北区災害ボランティアセンターにボランティアの派遣をお願いするという方法もあります。



### マンションの復旧は全戸で力を合わせて

マンションの場合、共用部分の復旧も急がなければなりません。時間はかけられないため、業者任せではなくマンション住民同士の助け合いで作業を進めましょう。

### 後悔しないため先を見すえた対応を

水害による建物被害は、壁の内部でカビが繁殖するなど水が引いたあとも進行することがあります。災害直後にできる対策はできるだけ取り組んでおきましょう。

【参照】地震編第6章コラム⑫ 北区災害ボランティアセンター p.090

## 水災保険

水害が発生すると、浸水した区域にある低層の建物あるいは低層階の住戸とそこにある家財道具全てが何かしらの被害を受けます。マンションでは、直接被害を受けた1・2階部分の住戸だけではなく、共用部分にも被害が発生します。

「水災(水害)」からの復旧には、多額の費用が必要になりますが、これを補うものとして、火災保険の特約として加入できる水災保険があります。賃貸住宅の場合、入居の条件として火災保険の加入が義務付けられている場合が多いですが、その保険に水災が含まれているか確認してみましょう。

また、分譲マンションの場合、マンション共用部分にかかる保険では、各住戸の内装や家財道具などは補償されません。保険会社によって保険の内容が異なるため、自分が加入している内容を確認してみましょう。

